

宮 里 颯 主将 愛知県 学校法人安城学園 岡崎城西高等学校 経済学部 後衛
就職先 トヨタ自動車九州株式会社

- ◎ 宮里主将の入部は、後衛の大黒柱2人の卒業を控えた年だけに強化が狙い。入部時から、甘いマスクに低い重心、懐が深く、ストロークに安定感があり、打球音がいい。1回生の春季リーグ戦から岡崎城西高の先輩、坂口選手とのペアでレギュラーに抜擢と期待の星。
- ◎ その秋季リーグ戦では、大黒柱を欠いても3位。続く関西学生新人も宮里選手の躍進は続き、山本選手とのペアで3位と地力を発揮。練習では、北野選手とのコンビでムードを盛り上げ、2回生では、西日本大学対抗も3位。立命館のゲーム展開の変革にも寄与した。
- ◎ 宮里選手のフォーム・テイクバックには多少？の異変は起こるが、主将就任後も持ち味に磨きがかかり「練習中は厳しく指示を出されるが、練習後は優しく部員皆から慕われる人望のある先輩。」と後輩の弁。統括監との会話も過去に例がないほど大人の対応が実現。
- ◎ 宮里選手の進路は、「人が主役の、人を大切にしたい企業風土」を築くことを企業理念とし地元愛知県から県外に初の工場を置いたレクサスの「トヨタ自動車九州」。社会人としての魅力の開花が楽しみ。願いは…ソフトテニスと関わり続け後輩への繋がり。お疲れ様。

北 野 敏 希 副将 大阪府 上宮高等学校 経済学部 後衛
就職先 積水化学工業株式会社

- ◎ 北野選手は、立命館の「救世主」と言えば、多くのOBが納得するだろう。後衛の補強を狙いとして入部。恩師の小牧先生曰く「しんどい時に頼れるオールラウンドプレーヤー！」早速、春季リーグ戦のシングルスでレギュラー。沈滞ムードのチームで一人ガッツを披露。
- ◎ 秋季リーグ戦では、大塚主将との大将ペアで3勝を挙げチームは3位。2回生で西日本大学対抗3位にも貢献。柔らかいゲーム展開、思い切り良いパンチ力やネットプレーも上手い。地道な努力も欠かさないので、苦しみながらも階段を上るように成長を遂げる。
- ◎ 4回生での完成度が楽しみだった。一方、北野選手の存在感はコート外でも光る。豊富な経験と多趣味を活かし、皆を巻き込んで遊びを企む。後輩から「同い年のように接して頂ける。お酒もとても強く…」と言うが、お酒の場は皆が避ける先輩？ここでも存在感。
- ◎ 北野選手の味わい深さが真価を発揮するのが、「3S精神」を社是とする「SEKISUI」。3Sとは、「サービス・スピード・スペリオリティ」。立命館のムードを盛り上げた笑顔と素材を思う存分披露するはず。後輩への思いやりを忘れない命友倶楽部の一員に…期待！

大塚 康 平 副将 京都府 京都府立西城陽高等学校 理工学部 後衛
就職先 中西金属工業株式会社

- ◎ 大塚選手の引き締まった口元と涼しい眼差し…そこにソフトテニスに対する強い信念と高い意識が伝わる。後衛の強化策として入部。高校時代から京都府で異彩を放つ選手。ストロークの改良を！と考えたが、大塚選手の拘りを感じ結局そのまま…頑固そうで！
- ◎ 個性的なストロークは、豪快で球足が長くスピードも並ではない。1回生の春季リーグ戦から抜擢され、その安定感で常にレギュラーに大塚選手。シングルス粘り、ダブルスの展開と理論にも長ける。それだけに練習時から常に集中し、自らに厳しく葛藤を続ける。
- ◎ 練習中は、誰もが近づき難い雰囲気を出すが大塚選手も後輩達にとっては、「練習以外では、優しく接して頂けるメリハリのある先輩。」と親しまれる。我部が永年築いてきた歴史の中で大事な時に必ず存在した「燻し銀」が此処にいた。果たした役割は大きい。
- ◎ 大塚選手の春からの活躍の場は、産業用機械を始め高度な技術・製品等の提供をしつつ、人権尊重や持続可能な社会の実現に向けた高い倫理観を…と大塚選手のスタイルに合致。大きく羽ばたく姿は、今後の現役選手を勇気付ける。ラケットを持ち続ける姿が楽しみ。

山本 哲也 主務 滋賀県 立命館守山高等学校 理工学部 前衛
進路 引き続き教育職を目指して…

- ◎ 山本主務は、立命館守山高から初めてレギュラークラスに成長すると期待された選手。軽快なフットワークと確かなインパクト。ボレー・スマッシュ・レシーブにサービスまでそつがない。1回生の秋の関西学生新人では、宮里選手とのペアで第3位と技術力を発揮。
- ◎ 2回生の秋季リーグ戦では、レギュラーとして活躍。一方、山本選手の目配り・気配りが評価され、3年続いた斎藤主務の後任に抜擢。プレイイングマネージャーとして白羽の矢が立った。コツコツと主務業を務めながらもテニスコートの外で様々な葛藤もあった。
- ◎ 山本選手の主務としての活動を冷静に見る後輩は、「哲也さんでなければ今のチームの団結はなかったと思います。」と言う。付け加えると「ちょっと抜けている可愛い先輩でもありました。」と…。人生の歩みの中で色々な事があるが、選手生命はまだまだ続く。
- ◎ 山本選手の目指す進路は、「限りなく崇高な営み」と言われる教育職。既に子供達に接しながら、教育職の経験を重ねている。ソフトテニスで培った経験や喜びが開花するのは、これから。本番に向けまだまだ道のりは続くが、実現の日を命友倶楽部は応援。必ず！